

ネキリムシ類（カブラヤガ）の早期発生に注意！

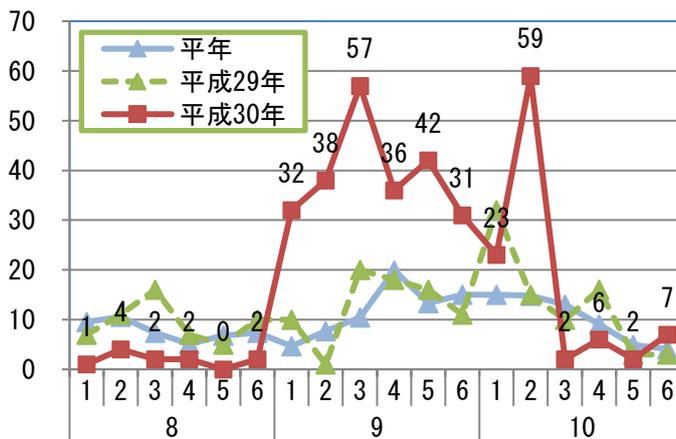
ネキリムシ類（カブラヤガ）は野菜等の苗の茎や、発芽した新芽を食害する害虫です。

昨年秋の発生が多かったため越冬幼虫が多いと予想されます。また、2月の気温が高かったためカブラヤガの生育が早まっています。野菜等の播種・定植を予定している場合は、幼虫による被害が多くなる恐れがありますので、防除を徹底して下さい。

1. 前年秋の発生状況

昨年9月～10月における農業試験場内でのフェロモントラップ誘殺数合計は335頭で、平年(132頭)、前年(155頭)に比べ多く発生しました。

農業試験場では、例年より早い3月15日よりフェロモントラップを設置して成虫の発生状況の調査を開始しますので、最新の情報に注意し、防除の参考にしてください。



2. 主な防除薬剤

薬剤名	使用量	使用時期	対象作物	使用回数
カルホス粉剤	土壌表面散布 土壌混和处理 6kg/10a	は種時又は植付時	キャベツ、ハクサイ、 キュウリ	1回
			ナス、レタス、トマト、 ネギ	2回以内
		は種時	ダイコン	1回
ダイアジノン 粒剤3	土壌混和 6～9kg/10a	は種時又は植付時	ピーマン	2回以内
		収穫30日前まで	キャベツ、ブロッコリー	
ネキリエースK	土壌表面株元処理 3kg/10a	は種時又は定植時	キャベツ、ダイコン、 ハクサイ	1回
		定植時～生育初期 収穫14日前まで	ブロッコリー	4回以内
		発芽期～生育初期	ニンジン	
		収穫14日前まで	サトイモ	
		収穫30日前まで	カブ、ネギ	2回以内

- **太字**は防除指針掲載作物
- 休耕地または雑草を耕起して植付ける場合や毎年被害を受けるほ場では発生が多くなるので、播種・定植(植付)時に土壌に殺虫剤を処理してください。
- 農薬の使用にあたってはラベルをよく確認し、使用方法・回数を遵守してください。

☆ 最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/SearchF/vtllm000.html>) を確認して下さい ☆

農薬の飛散に注意し、安全に使用しましょう

病害虫の適期防除に努めましょう